

こっこめ通信 08 2025

「最近はどうだった？」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

7月30日8時25分頃に発生したカムチャツカ半島付近を震源とする地震（M8.7）による津波が日本列島に到達しました。八丈島でも、八重根で16時19分に80cm（最大波）、神湊で15時27分に40cm（最大波）の津波が観測されています。海岸付近に通じる道は、早くから警察や消防の方々が、通行止めの対策してくれていました。夏休みで多くの観光客が訪れている状況の中、観光地として安心感のある素晴らしい対応だったと感じています。

さて、今回は「今年の梅雨の総括は？」「大人クラフト『紙で作る島の花』」「特別行事『親子で夜の昆虫観察会』」についてのお話です。

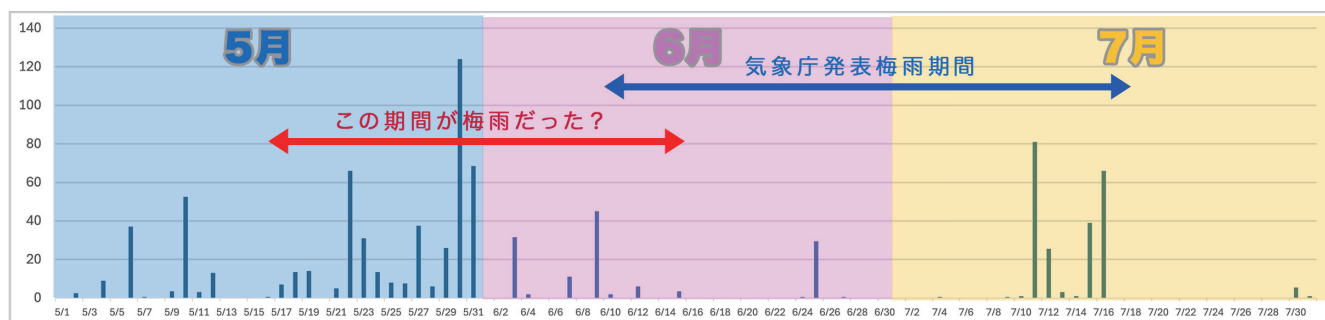
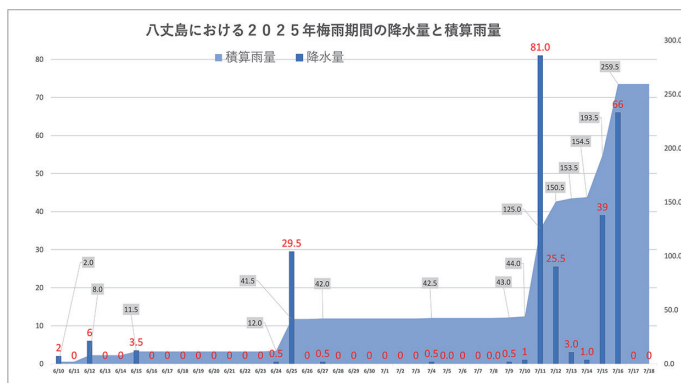
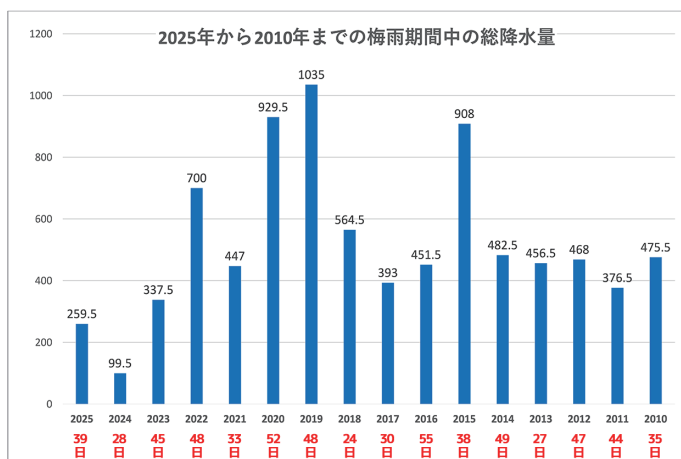
今年の梅雨の総括は？

八丈島は、関東甲信地方に含まれるため、今年の梅雨入りは6月10日、梅雨明けが7月18日となりました（速報値）。

梅雨期間中の総降水量は259.5mmで、過去15年の中で、2番目に少ない降水量となっています（図右上）。梅雨の期間が39日間ありましたが、降水が記録されたのは15日だけで、後半のまとまった降水がなければ、昨年の99.5mmのように100mmに届かなかったかもしれません（図右中）。

実は5月から6月にかけて、島の辺りに前線が停滞し、梅雨を思わせる天気が続いていました。5月・6月・7月の降水量のグラフ（図下）を見ると5月の中旬から下旬に雨がが続いていたことが分かります。実際にはこの期間が八丈島の実質的な梅雨だったと思われます。

例年ならば、前線がゆっくり北上するのですが、今年は一気に北上してしまい、6月中旬から急に夏の空になっていました。結局、7月も雨が少ないまま、8月に突入してしまいました。最近の梅雨は、以前の梅雨とは少し違ってきていますね。（H.T.）



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

大人クラフト「紙で作る島の花」

7月26日、八文学講座 大人クラフト「紙で作る島の花」を開催しました。クラフト行事はとても人気があり、毎回直ぐに定員になってしまうのですが、今回は10名定員のところ、6名の参加者での実施となっています。少なく残念でした。

今回は、ハイビスカスとブーゲンビリア、プルメリアの3種類の花を作り、アクセントに八丈町の木でもあるフェニックス・ロベニー（ロベ）の葉と一緒に飾ります。ロベの葉、ハイビスカスの蕊部分、ブーゲンビリアの花などは、事前に途中で作っておきました。まずは、ハイビスカスとプルメリアの花弁の中心部に色を塗り、切り取り、ボンドで組み立てていきます。ブーゲンビリアは花を3つ組み合わせ、ひとつの大きな花を作り、葉を付けたし完成させます。そして、最後に出来上がった花を木製のフレームにレイアウトしています。

参加者の中には、字を書き足してプレートにしたいというアイデアもあり、余白をうまく作ってデコレーションしていた方もいました。出来上がりはそれぞれ個性あふれる素敵な作品でした。完成した6名のフレームの写真を載せていますが、同じ材料を使ったとは思えませんね。

8月は、押し花を使った、大人クラフト「押し花アート」を開催します。(M.K.)



特別行事「親子で夜の昆虫観察会」

7月27日、夜の昆虫観察会を開催しました。定員15名の募集でしたが、大人の参加希望が多かったことから調整を行い、最終的に子ども11名・大人10名の参加となりました。出発前には「昆虫とは何か」といった基礎知識のほか、夜間に注意すべき生きものについてのレクチャーを行いました。

今年は虫の数が少なかったため、コガネムシの仲間「アオドウガネ」にターゲットを絞って観察を実施。満天の星空の下で心地よい夜風に頬をなでられながら、懐中電灯を手に夜の公園内を歩き、参加者たちは夢中で虫を探しました。

道中では、サツマゴキブリをはじめ、さまざまな夜の生きものたちとも出会いました。見慣れない虫に戸惑う子もいれば、初めて手に取ってじっくり観察しようとする子もいて、それぞれのペースで自然とのふれあいを楽しんでいました。観察を重ねるなかで、少しずつ「観察の目」が育っていくのが感じられ、子どもたちにとって刺激的で深い体験となったようです。

最終的にアオドウガネを合計106匹採集。そのなかに、現在では八丈島でほとんど見かけなくなった「ヤマトアオドウガネ」が2匹含まれていたことが、翌日の標本確認で分かりました（その場での判別は難しかったです）。夜の自然とじっくり向き合った、学びと体験の詰まったひとときでした。(R.T.)



八丈植物公園季節調査会の報告

前半はくもり空で時々日差しが出ていましたが、後半は雨が降り出してしまい、早めにビジターセンターへと戻りました。メインエントランスでは、同じマメ科のハイメドハギとヤハズソウを見比べたり、数を減らしてきている在来種のシロテンハナムグリと外来種のリュウキュウツヤハナムグリを見比べてみました。時間は通常よりも短くなってしまいましたが、充実した季節調査会となりました。(M.K.)

八丈植物公園季節調査 2025 年 7 月 13 日 (日)、天気：くもり後雨、気温：28.6℃ 調査者：1 名 VC：2 名

1	ヤブニッケイ	若い実、葉に虫こぶ目立つ
2	タコノキ	気根の長さ 74.8cm、周囲 11.2cm、雌株に実
3	オオタニワタリ	最長丈 117.3cm、幅 15.5cm
4	ニオイウツギ	葉茂る、実
5	ニオイパンマツリ	紫色の花数輪咲く
6	オオシマザクラ	新葉、葉の食害
7	アオツツラフジ	花
8	アオノクマタケラン	花・若い実
9	アオノリュウゼツラン	花
10	アベリア	花
11	アメリカスズメノヒエ	花
12	イヌビワ	実
13	ウスベニニガナ	花
14	エノキ	実
15	オオムラサキシキブ	花・若い実
16	オニタビラコ	花
17	オニドコロ	花
18	オヒシバ	花
19	ガクアジサイ	花・若い実
20	ガザニア	花
21	カタバミ	実
22	カヤツリグサ科	花
23	キフゲツトウ	花
24	キンゴジカ	蕾・花
25	クルマバザクロソウ	蕾
26	クロツグ	花
27	クワズイモ	蕾・花・実
28	コケリンドウ	花残る
29	コニシキソウ	花
30	コブナグサ	繁茂
31	コマツヨイグサ	蕾・花
32	コミカンソウ	花
33	スイカズラ	蕾
34	スダジイ	虫こぶ目立つ
35	スベリヒル	花・実
36	ソテツ	雄花・雌花
37	タカサゴユリ	蕾
38	タチスズメノヒエ	花・実
39	チチコグサ	花
40	テリハノブドウ	蕾
41	トキワハゼ	花
42	トックリラン	花
43	ナガエコミカンソウ	花・実
44	ノジスミレ	閉鎖花
45	ノチドメ	実
46	パイナップルリリー	花
47	ハイビスカス	蕾
48	ハマオモト	花
49	ヒナギキョウ	花
50	ヒメヒオウギズイセン	花
51	ヒメユズリハ	若い実
52	フェニックスロベニー	花
53	ヘビイチゴ	実
54	ヘラバヒメジョオン	花
55	ホウライカズラ	若い実
56	ホソバツルメヒシバ	花
57	ホルトノキ	蕾・花
58	マルバデイゴ	花
59	ムシクサ	蕾・花
60	ヤマイ	花
シダ植物		
1	イシカグマ	
2	オオイタチシダ	孢子囊
3	オニヤブソテツ	孢子囊
4	カニクサ	
5	スギナ	
6	タチクラマゴケ	
7	タチシノブ	孢子囊
8	タマシダ	孢子囊
9	トラノオシダ	
10	ナチシケシダ	
11	ノキシノブ	孢子葉
12	ハチジョウカナワラビ	
13	ハチジョウシダ	孢子囊
14	ヒトツバ	孢子葉
15	ヘラシダ	孢子囊
16	ホシダ	孢子囊
17	ホラシノブ	
18	マツパラン	
19	マメツタ	孢子葉
20	ミゾシダ	
21	ワラビ	

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、夜の昆虫でも見つかった「ヤマトアオドウガネ」にスポットを当ててみたいと思います。



ヤマトアオドウガネ *Anomala japonica*

コガネムシ科スジコガネ属。本州から九州にかけて分布していますが、アオドウガネの北上に伴い、個体数が減ってきています。

八丈島でもアオドウガネが入り込んだ影響で、ほぼ姿を見ることがなくなっていました。尾節板の毛が無いことや上翅側縁の隆起、頭部が小さいことなどからアオドウガネと区別が付けられますが、フィールドで見ると区別が付けにくいです。(H.T.)

2025
08

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
					 1	2 ガイドウォーク
					03:41 10:02 15:05 21:15	04:46 11:49 15:44 21:49
3 ガイドウォーク 夏休み特別行事「植物公園ナイトウォーク」	4	5	6	立秋 7	8	9 ガイドウォーク
06:06 14:28 17:04 22:42	07:25 15:48 19:39	00:20 16:25 21:59	01:46 16:54 21:57	02:45 17:20 22:29	03:32 10:37 17:45 22:59	04:16 11:13 18:11 23:30
10 ガイドウォーク	11 ガイドウォーク	12	13	14	15	16 ガイドウォーク
05:00 11:47 18:37	05:45 12:22 19:03	06:31 12:57 19:28	07:20 13:30 19:52	08:13 14:03 20:15	09:16 14:34 20:39	10:44 15:03 21:05
17 ガイドウォーク 子供クラフト教室「メダケでヒンメリを作ろう」 夏休み特別行事「植物公園ナイトウォーク」	18	19	20	21	22	23 処暑 ガイドウォーク 八文学講座「押し花アート」
05:05 21:41	06:38 18:47 23:24	08:05 16:29 21:21	09:09 16:54 22:03	02:53 17:18 22:35	03:48 17:40 23:04	04:34 11:12 18:01 23:32
24 ガイドウォーク 子供クラフト教室「ペットボトルで竜巻を作ろう」	25	26	27	28	29	30 ガイドウォーク
05:15 11:43 18:19 23:59	05:53 12:11 18:35	06:31 12:38 18:52	07:09 13:04 19:09	07:48 13:30 19:29	08:33 13:55 19:49	09:30 14:19 20:10
31 ガイドウォーク						 この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります
03:38 11:08 20:30	03:38 14:37					

イベントプログラム

夏休み特別行事 「植物公園ナイトウォーク」	夜の公園を歩き、夜に活動する生き物を探したり星を観望します。 8/3、8/17 (19:30～ 約1時間) 夜の公園を1時間歩ける方 植物公園メインエントランス集合・解散 参加費：50円 定員：15名
夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」	潮だまりでいろいろな生物を採集してみんなで観察します。大人だけの参加もOK! 8/8 (10:00～ 約1時間半) 小学生以上(小学生は保護者同伴)(未就学児の同伴不可) 垂土海水浴場(予定)集合・解散 参加費：50円 定員：15名
子供クラフト教室 「メダケでヒンメリを作ろう」	園内に蔓延るメダケを使ってフィンランドの伝統装飾「ヒンメリ」を作ります。 8/17 (13:30～ 約1時間半) 小学生(3年生まで保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
八文学講座 「押し花アート」	毎月行っている八文学講座。外来種の花を使った押し花アートを楽しみましょう! 8/23 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
子供クラフト教室 「ペットボトルで竜巻を作ろう」	回転する水流で人口竜巻の実験を行います! 8/24 (13:30～ 約1時間半) 小学生(3年生まで保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
植物公園ガイドウォーク	解説員が植物公園内をご案内します。 毎週 土日祝日及び休日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2025.8.1 第291号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/>

編集後記

8月1日、台風9号が通過していきました。小笠原諸島で停滞し、八丈島の西を通るのか?東を通るのか?直撃なのか?ビクビクしながら数日過ごしていました。結局、島の東側を離れて通過したため、影響は少なかったです。秋まで台風のビクビクは続きます。(H.T.)